

(1)



(2)

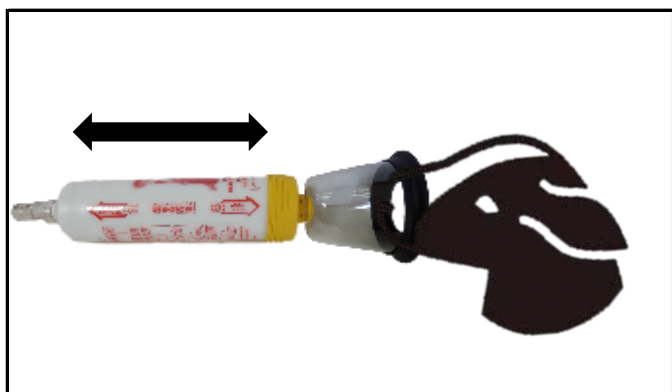
(3) (4)

- (1) 収納バック
- (2) 本体ポンプ
- (3) 羊水吸引用マスク  
(羊水や粘液を吸引する時に使用します)
- (4) 空気注入用マスク  
(空気を肺へ空気を送り込む時に使用します)

(使用後のメンテナンスについて)

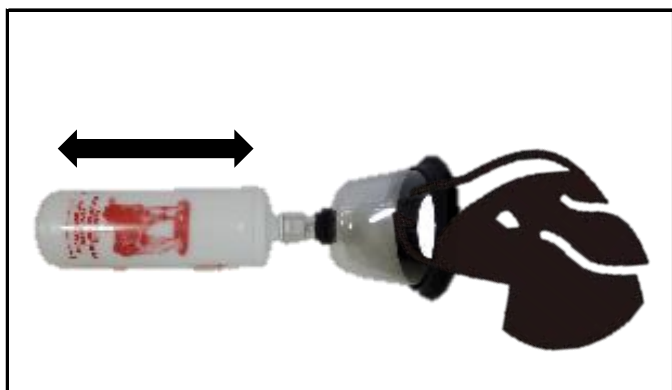
- ・ 家庭用洗剤を20倍に希釈したもので洗浄して下さい
- ・ 洗浄後は日陰で乾燥させ収納バックに保管して下さい

## (手順1)羊水や粘液を吸引する



- ① 本体ポンプに(3)羊水吸引用マスクをセットする
- ② 気道確保のため仔牛の頭を後方へ傾ける
- ③ 仔牛の口と鼻を(3)羊水吸引用マスクに入れる
- ④ 本体ポンプを4～5回ピストンして羊水や粘膜炎を吸引する

## (手順2)肺へ空気を送り込む



- ① 本体ポンプに(4)空気注入用マスクをセットする
- ② 気道確保のため仔牛の頭を後方へ傾ける
- ③ 仔牛の口と鼻を(4)空気注入用マスクに入れる
- ④ 本体ポンプを5～10秒間隔でピストンし肺に空気を送り込む

- 通常2回～5回の動作で自立呼吸を始めますが5回行っても呼吸しない場合は仔牛の態勢を入れ替えて、手順1から再度同じ作業を行ってください。  
(右肺が下の場合、左肺を下にする/左肺が下の場合、右肺を下にする)
- 左右の肺が重なってしまっている場合があります。  
その場合、仔牛を横臥姿勢にして左右の肺に同時に空気を送り込みます。
- 空気を送り込む力は本体ポンプを押す力でコントロールします。

※更に詳しい説明が必要な場合は株式会社カウコンホームページをご覧ください※